

11月度 <b>例会</b> <b>山行報告書</b>		報告者	竹内	参加 メンバー	CL:塚本英吾 青山 武 竹内幹雄
<b>個人</b>		報告日	12/11		
山 域	大野盆地	山行日	12年 11月 22日(木) ~		
山 名	荒島岳		**年 **月**日(*)		

山行目的	百名山(ふるさと富士)を登る	コースタイム(天候:天気図記号)
------	----------------	------------------

配布先
総会参加数
山行: 1
リーダー
原紙: 会事務局

ルート図(地図を見て正確に)

みずごうP  
中出コース  
小荒島岳  
1186m  
荒島岳1523m

1/2.5万地形図:

11/22 曇り
4:00 刈谷発
7:22 登山口P
8:07 二又
8:24 休憩
8:56 雨降り展望台
9:40 ひえ畑
10:15 小荒島岳 1186m
10:48 シャクナゲ平
12:10 荒島岳 1523m
12:42 下山開始
13:33 シャクナゲ平
14:00 小荒島岳
14:50 雨降り展望台
15:42 登山口P

山行報告 刈谷を早朝4時に出発、豊田南から高速に入り土岐経由で東海北陸道を走り白鳥I・CからR158で荒島岳「中出コース」登山口に向かう。登山口駐車場には7時頃到着、整備された大きな駐車場で案内板も新しく、まだ出来たての駐車場のようである。準備をして出発、林道を歩いて行くと登山口の道標が見えてきた。ここから登り始める。緩やかな登りで、ゆっくりと杉林の中を進むとやがて広葉樹の景色になる。木の葉は落ちて枝だけが残っているが、この無数に見える木立の景色が妙に季節を感じさせる。登山道を歩いて行くと時々道標が目に入るがその名前が面白い。「雨降り展望台」とか「おおこば展望台」とか書かれているが意味が判らないので気になって仕方がない。そのうち登山道には雪が見え始めて、やがて「ひえ畑」に到着。この辺りまでくると足元の雪も深くなってきた。踏み跡もあり、その上を踏みながら歩いて行く。「この先の積雪はどんなかな?」と思いながら歩いていたら、小荒島岳への分岐に到着。ここからすぐの所に小荒島岳があるので寄ってみると、荒島岳がとても綺麗に見えた。再び分岐に戻り荒島岳を目指す。この先はシャクナゲ平を越えて鞍部に下りそこから斜面を登って行く。だんだんと積雪も多くなってきたが踏み跡がしっかりと残っておりその上を歩いて行く。最後の急斜面を登りきるとその先に頂上が見えてきた。到着である。頂上には、まだ新しい祠と道標、方位盤が設置されていた。見ると今年の5月に建造されたものである。頂上からの

景色は曇り空ではあったが白山、経ヶ岳など近くの山々は良く見えている。30分程休憩しながら腹ごしらえをする。下山は登ってきた道をそのまま下って行く。急斜面の尾根は慎重にゆっくりと下る。ここを過ぎると緩やかな登山道となりシャクナゲ平を過ぎ小荒島岳分岐、ひえ畑を通過、雪もなくなりひたすら下って登山口駐車場に到着した。車で帰る途中R158沿いにある九頭竜温泉「平成の湯」で汗を流して帰路に着いた。



小荒島岳から見た荒島岳

リーダー所見 明日登る予定だったのを天候が気になって、一日早めることにしたのが良かった。雨(雪)に降られることもなく、無事山行を終えることができました。新雪の中を歩きましたが、「雪山登山であることを意識して慎重に登る事が大事である」とあらためて感じました。荒島岳は別名「大野富士」と呼ばれていて、どっしりとした良い山だと思います。

確認 (リーダー)
塚
12/12/11
本
作成 (報告者)
竹
12/12/10
内